

第三者レビューの対象及びレビュー実施者の資質について

1. 第三者レビューの対象

下記のうち、どこまでを第三者レビューの対象とするのが適切か。

環境報告書に記載された情報の正確性

- a. 定量的情報
(数値データ等)
- b. 定性的情報
(実施した事実を確認できる表現等)

環境報告書に記載された情報の網羅性

- a. 環境報告書の作成・開示基準の項目に対する網羅性
(作成・開示基準への準拠性 社会的合意に基づく基準の改定により高度化が可能)
- b. 環境保全上の必要性に照らした記載情報の網羅性
(当該事業者の活動・製品・サービスの性質及び規模を踏まえることやネガティブ情報の盛り込みが必要)

業種特性等を踏まえた環境報告書に記載された環境保全への取組状況の適切性

- a. 取組レベルの適切性
(社会的関心や同業他社の取組を踏まえた上での適切性等)

2. レビュー実施者に必要な資質

第三者レビューの実施者に次のような資質を求めることが適当か。また、この他にどのような資質を求めることが適当か。

a. 審査の知識・経験

個々のレビュー手続きから最終結論を導く技能が必要

b. 環境問題全般の知識

レビューの同質性を確保し、業務を効率的に進めるため対象事項に対する広範で基礎的な知識が必要

c. 業種特性に応じた環境保全の知識・経験

高度に専門的な判断を下し、レビューの同質性を確保するために必要

d. 環境マネジメントシステム（EMS）の知識・経験

業務を効率的に進める上では、関連の情報を全て調査するのではなく、サンプリングによらねばならず、その前提としての内部統制組織を評価する必要がある

3. 第三者レビューの対象毎の比較一覧

第三者レビューの対象	比較項目	レビュー実施者に必要な資質			
		a. 審査	b. 環境全般	c. 業種特性	d. EMS
記載情報の正確性					
a. 定量的情報					
b. 定性的情報					
記載情報の網羅性					
a. 作成・開示基準項目に対する網羅性					
b. 事業活動を踏まえた環境保全上の必要性に照らした記載情報の網羅性					
業種特性等を踏まえた環境報告書に記載された環境保全への取組の適切性					
a. 取組レベルの適切性					

注：レビュー実施者に必要な要件 最低限必要、 専門的に必要、 高度に必要